

令和3年度 第4回大町市上下水道事業経営審議会 議事録

日時 令和4年2月7日(木)

午後2時から

場所 大町市役所 東大会議室

【日程】

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 承認事項
(1) 第3回審議会議事録の承認について
- 4 審議事項
(1) 答申(案)について
- 5 その他
- 6 閉会

【出席者】

○出席委員(敬称略) 12名

松田 邦正 竹村 武人 塩入 博仁 矢口 博文 北澤 伸夫
和田 重信 北澤 貴美子 内山 重喜 縣 亮太 水久保 節
山田 賢一 越野 慈夫

○欠席委員(敬称略)

松澤 大成 古川 しげ子

○事務局

古平建設水道部長 松宗上下水道課長 荒井お客様係長兼課長補佐
吉原下水道施設係長兼課長補佐 竹村経営係長兼課長補佐
倉科経営係主査 松澤経営係主事

《開会 午後2時》

1 開会

課長：はい、それでは定刻となりましたので進めさせていただきたいと思います。

只今より、令和3年度第4回大町市上下水道事業経営審議会を開催いたします。本日は委員の皆様におかれましてはお忙しい中、またお足元の悪いところ、会議にご出席いただきまして誠にありがとうございます。審議事項までの間、進行を務めさせていただきます、上下水道課長の松宗と申します。よろしくお願いいたします。それでは、次第に沿って進めさせていただきます。

次第の2番、会長あいさつということで、松田会長よりよろしくお願い申し上げます。

2 会長あいさつ

会長：はい、皆さんこんにちは。オミクロン株の感染が広がっている中、皆様方におかれましては、オミクロンにも負けず健康なお体でご出席いただき、一安堵しているところでございます。前回の12月の審議会の時は、日本中コロナが収束しておりまして、終わってしまうのかなと思ったようなところですが、意外や意外、誰もが予想していなかったオミクロン株というものが勢いを増してきているような現状でございます。まるでウイルスというものは頭脳を持っているかのような、次はどのような手で攻めようかというようなことで人類とどうやって戦っていこうかという、そのような感じさえする変異の仕方でございます。まだまだ変異は続くかと思いますが、我々できることは一刻も早く、3回目のワクチン接種をして、なんとかそれを防いでいくことが最大の防御かなと、このように思っております。

さて、本日の審議会では、いよいよ答申（案）の作成ということで、この答申（案）について皆様にご審議していただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

課長：はい、ありがとうございました。

それではここで、本日欠席の連絡をいただいております委員をご報告申し上げます。お手元の委員名簿をご覧いただきたいと思います。まずお一人目、平地区連合自治会選出の松澤委員、次に常盤地区連合自治会選出の古川委員、以上の2名におかれましては、事前に所用によって本日欠席ということでご連絡をいただいております。

次に進めさせていただきます。次第3、承認事項ということで、第3回目の審議会の会議録の承認について事務局よりお願いをいたします。

3 承認事項

(1) 第3回審議会議事録の承認について

事務局：よろしくお願ひいたします。12月28日に開催されました、第3回審議会の議事録の承認について、議事録につきましては、1月25日付で委員の皆様には送付させていただいております。そちらの議事録については、皆様から特段の加筆修正等のご依頼はございませんでした。それ以外に加筆修正等ございましたら、この場でご発言いただければと思います。以上です。

課長：はい、ただいま説明しました通り、特に加筆修正の申し出はございません。本日ここで加筆、あるいは修正等ありましたらご発言をお願いいたします。よろしいでしょうか。

(発言なし)

はい、ありがとうございます。ないということで、次に進めさせていただきます。

次第4、審議事項ということになりまして、ここからは松田会長より進行をよろしくお願ひいたします。

4 審議事項

(1) 答申(案)について

会長：はい、それでは答申(案)について事務局より説明をお願いいたします。

経営係長：それでは、答申(案)についてということで、まず答申(案)に入る前にこれまでご審議いただきました内容につきまして、おさらいをしたいと思いますので、審議資料1をご覧ください。

昨年9月30日に市長から、「大町市上下水道事業について、1. 下水道事業の経営に関する事、2. 公共下水道及び農業集落排水施設の使用料に関する事」についての諮問を受け、これまで3回にわたって、委員の皆様からご意見をいただき、ご審議いただきました。第1回の審議会では、審議事項に入る前に、令和2年度決算における会計処理の収益化について、ご報告し、ご意見を伺いました。

続いて、こちらの資料にありますように審議事項として、大町市の下水道使用料について、使用料算定について、下水道の処理区について、現在の使用料体系や審議会のこれまでの答申経過、また平成18年度から昨年度までの使用料収入や有収水量の推移をご覧くださいました。使用料算定につきましては、国土交通省の資料を用いて、「下水道使用料算定の基本的考え方」をお示しし、また、処理区につきまして本市が作成したパンフレット等により、ご説明させていただきました。

第2回の審議会は、昨年11月11日に開催し、長時間の説明となつてしまい、委員の皆様には大変ご迷惑をおかけいたしました。審議事項として、下水道事業経営戦略の改定については、平成28年度に策定した「大町市下水道事業経営戦略」が策定から5年を経過することから、

改定に向けた基本的な方針案をお示しいたしました。収支及び経営状況については、昨年度の決算数値をお示し、収支及び経営状況をご確認いただきました。今後の事業計画及び収支計画の見通しについては、令和4年度から向こう10年間の令和13年度までの事業計画を基に、財政収支の推計をご覧いただき、経常収支比率などの経営指標を用いて、今後の経営状況につきまして、ご説明させていただきました。

第3回審議会では、第2回に引き続き経営戦略の改定について、使用料算定期間における収支について、使用料体系についてご審議いただき、「経営戦略」については、2回目の審議会に引き続き補足した部分につきましてご説明いたしました。このうち投資・財政計画については、現段階における将来の収支計画の見通しをお示ししましたが、具体的な方策につきましては、上位計画となります長野県作成の「水循環・資源循環のみち2022構想」が現在、改定作業を進めていることから、こちらと整合を取りながら、もう少し時間をかけて改定作業を進めていきたいということでご報告させていただきました。続いて、使用料算定期間における収支につきましては、算定期間である、令和4年度から6年度の3年間にわたる収支計画をお示しし、人口減少により下水道使用料は減少傾向となりますが、経営状況を示す経常収支比率の予測は3カ年の平均で112.3%を見込むことをご説明いたしました。具体的な使用料体系につきましては、第1回でご説明した、基本的考え方に基づきまして、使用料対象経費と使用料収入のバランスがおおよそ均衡していることをご覧いただき、資産維持費についての説明と使用料対象経費を、「需要家費、固定費、変動費」に分解し、基本使用料と超過使用料に配賦いたしました。続いて、近隣市町村の下水道使用料の状況をご覧いただき、大町市の使用料金がどの程度に位置しているかをご確認いただきました。

以上、3回の審議会を開催し、委員の皆さまから積極的なご意見をいただきまして、前回の審議会において使用料算定期間の3年間については、現行の料金を「据え置き」「現状維持で」とのご意見をいただきました。また、主なご意見としては、「今後まちづくりをしていく中で、人口減少社会に対応した、施設の広域化や共同化へ積極的に取り組み、効率的な経営を図り、少しでも安価な料金検討」についてご意見をいただいたところです。

本日は、これまでご審議いただいた内容に基づきまして、お手元にお配りしてあります審議資料2をご覧ください。答申の「案」となりますが、作成いたしましたので、朗読させていただきます。

〈答申書（案）の朗読〉

以上でございます。

会長：はい、ありがとうございます。只今、答申（案）について内容をご説明いただきました。これについて何か皆様よりご意見があればと思い

ます。お願いいたします。

A 委員、文章の構成上、何か問題ありますか。お気づきの点ありますか。

A 委員：只今しっかり文章については朗読もありましたので、拝見させていただきました。内容については特にはないのですが、4番目の付帯意見の部分について、今後の3年あるいは10年はこのままの料金でいけるのだろうなとは思いますが、この間に付帯意見のようなことを水面下でしっかり取り組んでいただけるものと思い、心強く思っているところでございます。以上でございます。

会 長：はい、ありがとうございました。ほかに皆様のほうから何かございますか。

よくできた答申内容だなと思います。特に付帯意見のところも非常にいろいろなことを総括しながら短い文章で表してありまして、私としては良いかなと思っております。それでは皆さんこれでよろしいでしょうか。

(同意の声)

はい、ありがとうございます。それでは答申(案)は、これを答申としてよろしくお願いいたします。

課 長：はい、会長ありがとうございました。

答申(案)につきましても、先ほどのA委員さんからのご意見、大変ありがとうございました。最後の取りまとめについては、第3回審議会の際に、委員の皆様からご意見が出たものを要約させていただいた内容でございます。ここに書いてありますとおり、今後の下水道の経営に関しては、施設の共同化あるいは運営の広域化について、長野県を中心に今後計画を進めさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、只今の答申(案)については、この文章で答申という結論をいただいたところでございます。実際の答申につきましては、この後、当審議会から市長へ答申という形になります。市長の日程、会長、職務代理の日程等を調整したうえで日程を決め、答申を行いたいと考えておりますが、答申の日程については、会長に一任ということでよろしいかどうかをこの場でお諮りをしたいと思いますと思いますが、いかがでしょうか。

(異議なしの声)

はい、ありがとうございます。市もこの後2月定例議会等々の日程が入っております。会長と日程も調整させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

5 その他

課 長：それでは次第のその他に入りますが、事務局からは特段ございませんが、全体を通して委員の皆様から何かございましたらお願いしたいと思えます。

B 委員：社の農集排について、私は社南部処理場を利用しているものですが、特に気になっているのですが、不明水があるということで、その辺をしっかりと調査をいただきたいと思えます。よろしく願います。

課 長：はい、ご意見ありがとうございます。確かに池田町との境にある社南部処理場では、雨の降った際に管渠に不明水が入り、処理水量が増えてしまうということで、数年前から自治会の役員さんを通じて、宮本地区、閨田地区の皆さんに回覧等をしたうえで、調査を進めてまいりました。具体的な調査におきましては、マンホールから管の中のカメラ調査や、流量計測器での流入箇所調査を行い、大きく範囲を絞って調査をしてまいりました。また、不明水がある場所が概ね判明してきたことから、その一部分の対策を来年度、予算を計上してやる予定で今考えております。ただ、一気に解消できるかと申しますと、不明水が出ている箇所がいくつかあるので、順番に対策をしていき、対策の効果についても検証し、今後も引き続き進めてまいりますので、その節はよろしく願います。

また、先ほどの広域化については、私どもが管理しております処理施設を、隣の自治体と連携を図りながら下流の施設へ接続し、利用できるかどうか、そういった広域化についても事務レベルで今、進み出したところがございます。そういったことで、不明水の解決をしつつ、また広域化に向けた対応についても進めていきたいと考えておりますので、よろしく願います。

はい、ほかにご意見ご発言ありますでしょうか。全体を通してよろしいですか。

(特に意見等なし)

特にご意見等はないようですので、その他についてはこれで終わりにしたいと思います。

それでは、本日の経営審議会最後の審議会となりますので最後に建設水道部長より一言ご挨拶をさせていただきます。

部 長：お疲れ様です。閉会に先立ちまして、私から一言ご挨拶を申し上げます。

昨年9月末からご審議いただきました上下水道事業経営審議会につき

ましても、本日第4回をもって無事終了を迎えることが出来ました。これもひとえに円滑な議事進行を務めていただいた会長を始め、各委員の皆様方が熱心に取り組んでいただきましたことを、改めて感謝申し上げます。次第でございます。

当市も他の自治体と同様に人口減少社会に、また少子高齢化社会に、今後、間違いなく突入していく状況になるかと思えます。これは社人研の人口ビジョンでも、近い将来ますます人口が減少していくと予測されているため、それに立ち打つべく今、定住促進など様々な課題をクリアすべく、市も取り組んでいる状況でございます。そういった中で、市民の皆様のライフラインを司ります上水道それから、また下水道をしっかりと維持していくために、我々職員も一丸となって、今後一層取り組んで参りたいと考えております。

それからまた冒頭、会長からもお話がありましたように、今現在コロナウイルスという未曾有の危機的状況にも直面しているという状況でございます。今後しっかりと、我々もこういった課題にも取り組んでいくために、ますますの連携をもって、引き続き続けて参りたいと存じます。今後とも引き続き委員の皆様、ご協力またご支援をよろしく願いしたいと存じます。大変ありがとうございました。今後もよろしくお願いいたします。

課長：はい、それでは次第の最後になります。これで閉会させていただきますが、9月からの審議会、本当にありがとうございました。

只今をもちまして、令和3年度第4回大町市上下水道事業経営審議会を閉じたいと思います。本日はありがとうございました。

《閉会 午後2時33分》